

実態知り 支援相次ぐ

⑤

連載への反響

連載「ここにいるよ」 沖縄

くない」と語った。

ここにいるよ

沖縄 子どもの貧困

第2部 親は… <15>

連載「ここにいるよ」 沖縄
 子どもの貧困「親は…」
 には、多くの読者から、実態を
 知りたかったという声や共感を示
 す意見が、メールや手紙、電話
 で寄せられた。具体的には「支
 たい」と申し出る人も相次いだ。
 うるま市に住む50歳の女性
 は、期限切れ食品で節約しなが
 ら、離島で2人の子を育てるサ
 ミさん(仮名)に支援したいと
 申し出た。女性がボランティア
 活動を通じて出会った母子家庭
 の子どもたちの中に「ママはお
 金ない」と、進学を諦めてい
 る子がいたという。「きょうの
 日はお金を考えるのは難しい。
 子でもたらす将来を語ってほし

40代の女性は「子どもの貧困
 の記事は読んだばかりに心が痛くな
 る。3人の子ともがいるが、わ
 が子とあまりにも違う環境で暮
 らしている子どもたちがたくま
 んにいることにショックを受け
 た。何かできやうてほしいか」と
 メールで問い合わせ、ナミキ
 んに衣類などを送った。

「学力と心育てる場も必要」



連載「ここにいるよ」第2部「親は…」に読者から寄せられた手紙やメール

市のある子ら4人を育てながら、
 がんを患う兄の世界もするりカ
 さん(同)に共感し、「力にな
 りたい」と義理援助した。女性
 は「税金の無駄をやめ、支援費
 に回せないか。政治を変えなけ
 ればならない」と語った。
 豊田町の女性(仮)は、男の
 子5人を育てるサチエさん(同)

ザーは「親戚で最近まで働いて
 いた。また風俗に雇われようか悩ん
 でいる。母子家庭で子どもを育
 てるのは大変。普通の生活がし
 たいけど、それが難しい世の中
 ですね」と切実な思いを
 つづけた。

30代の読者は父子家庭のママ
 さん(同)の記事に「男性は
 仕事をして当たり前という意識
 があり、家事や育児に時間を
 費やすことに後ろめたさもあ
 る。働けなくなると収入が減っ
 てしまつては、せつなく子ども
 と共に暮らすことを進んだ人々
 を敬しい環境に陥らせただけだ」と
 語った。

への手紙を託した。サチエさん
 と同じように男の子5人を育て
 ている。1人に障がいがある。
 「なかなか言うことを聞かない
 し、ついイライラするところがあ
 る」と共感し、「少しでもサチ
 エさんが楽になるよう、子ども
 たちが健やかに育つことを祈
 りています」と、支援サービ
 スの情報を伝えた。

小中学生の子がいる女性は
 「物資を提供する」こともあろ
 う大切だが、貧困の連鎖を断ち
 切らなければならない。子ども
 たちへの学力支援を急ぐ。学力
 と心を育てる場が必要だ」と指
 摘した。

■ 第2部おわり
 当事者からの声もあった。小
 学生を育てる30代のシングルマ
 ー(第3部は4月上旬から掲載
 します)